

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	218	学校名	仙台市立岩切中学校	校長名	糸谷 俊哉
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

宿泊的行事を通して深める SDGs 学習（2年目）

～【持続可能な世界】・【誰一人置き去りにしない世界】の実現へ向けた取り組みから学ぶ～



2 取組の紹介

将来私たちが生活していく地域社会を【持続可能な社会】【誰一人置き去りにしない社会】としていくためには『何をしたらいいのか。』『そんな社会の実現に向けてできることは何なのか。』今の中学生は2030年には社会づくりの担い手となっています。だからこそ岩切中学校3学年では、よりよい社会を作り上げる力を育むことができるよう、普段の学校生活では経験できない宿泊的行事である修学旅行を通して、多くの課題解決に向けた活動を行い、SDGsについての学習に取り組みました。

○修学旅行事前学習（SDGs の取り組み）について

令和6年4月15日からの修学旅行で訪れた京都府（市）と今実際に暮らしている宮城県（仙台市）で行われているSDGsの取り組みを比較するという観点で、自分の興味のあるテーマに沿って、調べ、スライドを活用し、写真や図、イラストなどを用いてまとめ、調べたことを班や学級で発表し合いました。生徒たちはそれぞれの視点で調べ、『エネルギーの比較』『健康イベントの比較』『クリーンエネルギーの比較』『企業が取り組むつくる責任つかう責任に向けた取り組みの比較』など様々な視点を持って調べ、工夫して発表する姿が見られました。

宮城県と京都府の「貧困」への取り組み



①宮城県の取り組み
・「子ども食堂」の開設や運営についてのノウハウを提供し、県内各地に「子ども食堂」の取り組みが広がるように支援している。

子ども食堂とは、子供一人でも行ける無料または低額の食堂。子ども食堂は民間発の自主的・自発的な取り組み。



②京都府の取り組み

「子供の教育のための総合交付金」

（趣旨）

府と市町村が一体となって「教育環境日本一」に向けた取り組みを進めるため、地域の事情に応じた特色ある取り組みを支援する
（事業内容）
・教育費負担の削減の取り組（給食費や学習費の保護者負担削減）
・不登校児童生徒の増加への対応
・特別支援を要する児童生徒増加への対応



仙台市と京都市の「気候変動に対する対策」比較

気候変動に具体的な対策をとる

温室効果ガスの排出を原因とする地球温暖化現象が招く世界各地での気候変動やその影響を軽減することが目標です。

13 気候変動に具体的な対策をとる



○修学旅行での自主研修、まとめについて

京都自主研修では、次の3つの目標に関わる研修場所が多くある。
修学旅行ワークブックも参考にして、京都のこれまでのまちづくりの工夫やSDGsとの関連を体験ができるように、班ごとに行程を考えました。

まとめのポートフォリオには、SDGsについて学んだこと、京都や大阪で感じたことをまとめました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

○岩切中学校では「主体的に取り組む生徒の育成」「対話を通し他と協働する生徒の育成」を学校目標とし、様々な教育活動の場面で生徒の主体性や対話を通した他者と協力し合って活動することによって互いに成長していくことができるよう指導しております。これまでのSDGs学習が「主体的に取り組む生徒の育成」「対話を通し他と協働する生徒の育成」にもつながり、社会との関わりを意識した自分の生き方について考えるきっかけになりました。